

第2章 現状・課題

- ・若い世代の転出者が多い
- ・働く場所が少ない
- ・情報発信不足
- ・役員選出が難しい
- ・若い世代の参加が少ない
- ・自治会加入のメリットの少なさ
- ・加入促進の特効薬はなし
- ・柔軟な対応が必要
- ・団体同士の関りが希薄
- ・会員不足、担い手不足
- ・情報発信方法を知らない
- ・活動拠点(事務所)がない

住みやすい、まちにしていくには。 解決していくには。

第3章 目指すべき理想

「協働の定義、協働の考え方」 「協働の原則」 「協働のカタチ」

現状や課題を解決するために必要なルールや、ルールを守るための条件などについて

協働を進めることにより得られる効果は。

第4章 協働によって期待される効果。

協働を行うことにより、良くなっていることについて(課題を解決につながるか)

第5章につづく